



浜家連ニュース

第156号

平成25年(2013)年8月1日発行

○発行 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3F
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

《巻頭言》 浜家連研修会第1回「障害年金について」

副理事長 宮川玲子

今年度から今までの相談研修会から浜家連研修会に名前を変え、年間5回シリーズを担当することになりました。よろしくお願い致します。

第1回は、6月30日(日)に、障害年金についてお話を伺いました。講師は昨年から浜家連の年金相談をやっている、社会保険労務士・年金コンサルタントの小山志郎先生でした。当日は48名の出席があり、13名の相談がありました。

先生は昨年浜家連の三役会議に初めてお見えになった時、精神障害者の家族の方が大変な苦勞をしていることに心を痛め、これからの人生をそういう人達のために働こうと決心されたということをお聞きし、私は大変感激をしました。そして丁度浜家連研修会の内容を考えているところでしたので、すぐ研修会で話していただくよう予約をさせていただきました。

障害年金は一人一人発症年齢など状況が違うので個別相談が必要ということで、早速ブロックのフォーラムでは、相談コーナーを設け相談にあたってくださいました。先生の凄い所は講演での沢山の事例でも分か



るように、机上の相談だけでなく直接、病院や医者の方所・年金の窓口で足を運んで交渉することです。親だけではどうにもならないところを先生が専門的な知識で話をすることでなんとか解決の糸口がつかめること。さらに最近第三者の証明でも良くなったので隣人や民生委員などにも話を持っていくこと。そのような先生の奮闘で事例にもありましたように、もう駄目だと諦

めていた沢山の人が貰えることになったということです。驚いたことには、中には5年遡って1度に400万貰え、尚且つ5年間払っていた分が返ってくるので、一度に500万円近くの収入があるそうなので親亡き後の生活に安心感が出てくるのではないのでしょうか。しかも若い人ならこれからの年金収入を考えると4千万近くの収入があるということです。貰えるようになった方にとつ

て先生は神様のように有難い存在だったのではないのでしょうか。

駄目だと諦めている方がいたら是非先生にご相談なさってください。相談は無料です。

先生はあと5年で80才ということでその間は頑張ってくださいます。ですから皆さん相談するなら、何時するの「今でしょう！」

単会会長交流会実施報告

専務理事 鷹野 薫

6月26日(水)浜家連として初めての試みである単会会長交流会が開催されました。

これは、この2月に単会さんのお困りごとについて実施したアンケートで「新しい会員が増えない」「役員のなり手がいない」という単会さんがある一方、「新しい会員も

増えているし、役員のなり手もいる」単会さんもありましたので、お互いに情報を交換し合って「会員を増やそう」「役員の若返りを目指そう」という目的で開催しました。

お集まり頂いた会長さんのプロフィールは以下の通



りです(代理の方1名含みます)
女性の方7名様、男性の方11名様、
年齢は60歳代初めから82歳までです。
会長になって間もない方が8名さん、
浜家連の理事を兼務されていない方9
名さん、理事と兼務の方が9名さんでし
た。

最初に米倉理事長から25年度の浜家連の市当局、
市会に要望する「最重点項目」のお話と『グループダイ
ナミックス 集団力学 $1 \times 18 = 19 + \alpha$ 』と言う挨拶があ
りました。……この式の意義については皆様考えてみ
て下さい……

次に、全員で簡単な自己紹介をして頂きましたが、
短い紹介の中でも皆様本当に様々な事情を抱える中
で、家族のために頑張っておられることがうかがわれ、
心から敬意と感謝を申し上げたいと思いました。「自分
だけ頑張っているわけではない」と反省させられました。
続いて、6名ずつ3つのグループに分かれて話し合い、
知恵を出し合いました。各グループ分けは概略「困っ
ている」2名、「まあまあ」2名、「困っていない」2名の構
成です。

最後に話し合いの結果をグループごとに発表して頂
きました。

1、「新しい会員を増やす方法」…主なもの

①各区福祉保健センターさんのご理解とご協力が最
大の力。特に「ワーカーさんの力」が一番大切。この
力は区によって強いところと、比較的弱いところがあ
る。強いところは、伝統的な家族会支援の風土があ
る。より一層理解と協力を頂くように働きかける必要
がある。

②家族による家族学習会は大変有効な方法である。
参加者の多くの方がその後入会して下さった。

③入会案内、会報やホームページによる広報活動が
大切。内容を充実させ、出来るだけ多くの方に送り
続ける。

他の区の良さそうなところは参考にする。

あおぞら会、若杉会、たちばな会がホームページを
立ち上げた。今後、浜家連も含めて適時更新し、充
実して行くことが大切。また、入会案内は地元の病
院、クリニックさんにもおいて頂く。

④例会を充実させる、あるいはとにかく話せる準例会
の様な会・場を設ける。

内容も、運営方法もより工夫する必要がある。「話の
つどい」「サロン」「男のしゃべり場」など、会によっ
てはいろいろな試みをしていて大変参考になりました。
……この課題について今後この交流会で討議をより
深めて行く必要があると強く感じました。……

⑤応援者、ネットワークづくりが大切。

いろいろな会合に積極的に顔を出し、多くの方と知
り合い、会を認知してもらう。特に区選出市議員さ
ん、生活支援センター、社協に応援して頂くように努
める。

⑥SST、講演会や学習会を開催する。あるいは区や、
生活支援センター、社協に働きかけて開催してもら
う。講師は公務員が費用がかからなくて良い。講師
の先生は浜家連に相談すると紹介してもらえる。

⑦バスハイク、お食事会、ミニ茶話会などの親睦会も
有効。他の区の旅行会などのイベント情報を参考に
する。

以上いろいろな工夫が必要だが、根本は入会して
役立った、助かったと感じてもらえる、会員の切なる
思いに応えられるよう、会そのものを「魅力ある会」に
することが重要である、と感じました。

2、「役員若返りを図る方法」

①2、3年計画を持ち、声かけして行く。

②負担にならない小さな役を作って、そこから参加し
てもらう。例えば、お茶係、受付係、イベント係など。

③リーダーシップがあれば、若くなくとも良いのでは。

④先ず会員が増えれば誰かいるはず、会員を増や
すことが先決。

……この課題については時間の関係もあり、討議が
深まらなかった。この課題も、今後この交流会で討
議をより深めて行く必要があると感じました。……

18単会は同じ目的に向かって活動していますが、
皆さん個性豊であることが解りました。また、会長さ
んは、皆さんいろいろな経験のある方々で、家族会活
動に対する熱い思いを感じました。

皆様、またお集まり頂き、「魅力ある会とは」を含めて、
今回語り尽くせなかった思いをお聴きかせ頂き、意見
交換する機会を設けさせて頂きたいと思います。

A B C グループごとの感想文

Aグループ 大羽 更明(たちばな会)

他の家族会の活動の実態を聞き、会員の高齢化というような共通する問題点や、さまざまな活動方法を教えられてとても参考になりました。どこも定例会中心ではあっても、会員が増えている会はそれに加えて様々な工夫をしておられます。隔月の家族SSTを実施し他の区の家族も参加してもらおうとか、区民活動センターでの定例の家族相談日を区の広報掲載依頼する、クリニックの紹介で新会員を増やすなどは、思いもつかないものでした。

Bグループ 岡林 郁子(あけぼの会)

Bグループで話題になった、「ワーカーさんの対応について」*年4回講演会を開催してくれる。*定例会には必ず出席。*定例会出席は無いがフォーラムには協力。*福祉保健センターになってから忙しくなり年3回の「悩みを語る会」のみ参加。*年1回「制度の話」をしてくれる等。会によって対応の厚薄がある事が分かりました。ワーカーさんに理解と協力をして頂くにはどうしたら良いか?次の交流会で智慧を出し合いましょう。

Cグループ 植木 秀子(わかば会)

ベテランの方たちに囲まれて少々緊張しましたが、テーマにそって話し合いがされるのかと思いきや、脱線すること度々でした。さて、本題ですが会員を増やすにはどうしたら良いかについて、区役所のワーカーから相談に来た方を家族会に紹介して頂く事が多く、家族会の伝統があるところほどその繋がりは強いと知りました。また、なんとかしなければと危機感を持った会長が自らホームページを立ち上げられた話しを聞きその熱意に感動しました。400件のアクセスがあり200件は会員と思われる事、家族会に繋がった方は2人でしたと言われてましたが、これからのつながる活動方法なのではと思いました。家族学習会も有効な方法、最初に脱線と書きましたが、脱線の中に今抱えている家族会の悩み、問題があるような気がしました。

*会員を増やすことは一人でも多くの家族を救う事なのですが、その家族会の中にある悩みとか、運営方法とかを知りたいです。

***事務局追記 アンケート結果で、年2回開催希望の単会さんが多くて、2回目は11月22日(金)になります。**

平成26年度健康福祉局宛要望事項

【最重点項目】

- 1、横浜市内にある精神保健福祉諸制度を統合した「横浜型アウトリーチ事業」を構築して下さい。そのため、平成26年度、市内に1ヶ所、そのモデル事業を立ち上げて下さい。
- 2、「重度障害者医療費助成制度」は25年10月から精神障害者1級の通院についてのみ実施されることになりましたが、これを1級の入院にも適用し、さらに2級の入院、通院に適用するようにして下さい。
- 3、「将来にわたるあんしん施策」、「よこはま保健医療プラン2013」の精神疾患に関する施策を実行するに当たって浜家連と協議の場を定期的に設定して下さい。

横浜市健康福祉局との懇談会が8月22日に行なわれます。出席ご希望の方は事務局へお申し出ください。最重点項目のみですので、詳細は事務局へお申し出ください。



各種法案成立について

閉会した第183回通常国会には、障害者に関わる重要法案が多数提出され、下記のような審議結果となりました。こうした状況を踏まえ、きょうされんは、6月26日に「障害のある人々が選択できるこの国の未来を」の声明を発信しました。参議院選挙後の憲法改正の動きや消費税増税問題などは、障害分野にも深く関わる事について私どもも身近な問題として、関心を持って推移を見て行きたいと思えます。

***浜家連ニュース7月号で、記事が先行しました事をお詫びして訂正します。**

(生活保護法改正案は廃案になりました。)

■第183回 通常国会／障害者に関わる主な法案の審議結果

法律名	結果	各党の対応	備考
成年被後見人 選挙権回復法	5.27成立 (参院)	全会一致	附帯決議あり 参院3項
道路交通法	6.7成立 (衆院)	全会一致	附帯決議あり 参院10項、衆院10項
雇用促進法	6.13成立 (衆院)	全会一致	附帯決議あり 参院6項
精神保健福祉法	6.13成立 (衆院)	共産、社民が反対 その他は賛成	修正あり、附帯決議あり 参院7項、衆院10項
差別解消法	6.19成立 (参院)	全会一致	附帯決議あり 衆院8項、参院12項
生活保護法	6.26会期末 廃案	共産、社民は修正後 も反対、他は賛成	衆院で修正協議(自民、 公明、民主、みんな)
(国会会期／2013年1月28日～6月26日の150日間)			

シルバー川柳Ⅳ みやぎシルバーネットから抜粋(本は事務局にあります)

夏休みです。くすっと笑って、納得して、リラックスしても、熱中症には気を付けてください。

- ・愛してる それが今では 息してる?(男67才) ・婆さんも 性別欄は まだ女(女64才)
- ・ね～ばあば じいじはほんとに 男なの?(女68才) ・どっこいしょ 言葉の杖に 助けられ(女79才)
- ・3段腹 折ってたためど 同じ腹(女75才) ・夏休み 孫よ早よこい 早よ帰れ(男78才)

事務局夏休みのお知らせ

事務局は8月12日(月)～8月16日(金)まで夏休みです。

ご迷惑をお掛けしますが、よろしく願います。留守電対応になりますので、ご承知ください。

イベントのお知らせ

§1 Bブロックフォーラム

日時 平成25年9月23日(月・祝日) 13:00～16:15

会場 保土ヶ谷区公会堂 定員590名 (交通 相鉄線 星川駅下車 徒歩5分) 無料 先着順

テーマ 親亡きあと スローガン 心配しないで、私たちがいるよ

映画「海洋天堂」(98分)

講演 「親亡きあとを考える～フツウの暮らしを支える～」(手話通訳あり)

講師 櫻庭 孝子 氏 (市精連前代表)

§2 第19回市民メンタルヘルス講座

日時 平成25年10月5日(土) 午後1時30分開演～午後3時30分(午後1時開場)

場所 横浜市健康福祉総合センター 4階 ホール 定員300名 要予約

演題 誰にもわかるこころの免疫学「免疫力をつける生活～こころの健康は食べ物から～」

講師 藤田 紘一郎先生(東京医科歯科大学名誉教授)

申込み先 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 横浜ラポール 3階 NPO法人浜家連

FAX又は郵送で申し込んでください。聴講券をお送りします。 FAX番号 045-548-4836

編集後記

富士山が世界遺産になりました。頂上に連続12回登りましたが、もう一回挑戦したいと思っています。